

平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 イメージワン

コード番号 2667 URL <http://www.imageone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高田 康廣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長

(氏名) 野村 真一

TEL 03-5908-2800

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	373	—	△52	—	△64	—	△65	—
23年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△1,900.26	—
23年9月期第1四半期	—	—

(注)平成23年9月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	1,366	582	42.6	—
23年9月期	1,422	655	46.1	—

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 582百万円 23年9月期 655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,100	7.9	70	—	50	—	20	—	580.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)第2四半期累計期間における業績予想は行っていません。

当期の業績予想には大型案件が含まれており、その時期が流動的なため、第2四半期累計期間における業績予想の発表は控えさせていただいております。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	35,211 株	23年9月期	35,211 株
24年9月期1Q	745 株	23年9月期	745 株
24年9月期1Q	34,466 株	23年9月期1Q	34,466 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

・連結子会社でありました株式会社イメージワンソリューションズを平成23年6月30日に吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、前第3四半期累計期間から非連結の開示となっております。

・前四半期累計期間においては四半期損益計算書の開示を行っていないため、前四半期累計期間の四半期損益計算書を記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直しているものの、海外経済の減速や円相場の高止まりが輸出の伸びを抑制し、今後景況感は悪化に転じると見込まれます。

このような環境の中で、当第1四半期累計期間における業績は、売上高373百万円、営業損失は52百万円、経常損失は64百万円、四半期純損失は65百万円となりました。

なお、連結子会社でありました株式会社イメージワンソリューションズを平成23年6月30日に吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、当第1四半期累計期間は非連結での開示となっております。このため、前年同四半期との比較はおこなっておりません。

セグメントの概況は以下のとおりです。

#### 医療画像事業

当第1四半期は、東日本大震災の影響を受けた東北地域での商談の遅延等があるものの、医療画像市場の成長を背景とした商談件数の増加基調により売上高218百万円(前年同期比0.1%増)、新規商品の開発要員増加等のコスト増により、営業利益は1百万円(前年同期比63.5%減)となりました。第2四半期では、公立病院の年度末に向けて、前期より販売開始したConnectio RIS(放射線科情報システム)等の受注が順調に推移しております。

今後も事業基盤増強のための投資を継続して実施し、PACS(医療画像保管・配信・表示システム)やConnectio RIS等に加え、診療科の枠を超えた情報一元管理を実現するConnectio MeD(病院情報統合システム)を投入することにより、地域の中核となる病院の情報統合システムを構築・運営できる体制を築いて参ります。

#### 衛星画像事業

当第1四半期は、レーダ衛星を用いた安全保障分野向け大型案件、UAV(小型無人飛行機)、携帯型分光放射計、PIV(海象監視)システムおよび計測サービスが順調に推移した結果、売上高154百万円(前年同期比33.8%増)、営業利益は2百万円(前年同期比14百万円増)となりました。今後も引き続き、レーダ衛星の画像データ販売を中央官庁の安全保障市場へ注力すると共に、これまでに蓄積した解析技術を生かした高付加価値(変化抽出、オルソ画像、フル偏波解析、地表面変動解析、海上監視等)の新規事業構築を推進し、人工衛星からUAV、携帯型分光放射計に至るまで、宇宙より地表までの積極的な事業展開をして参ります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて4.1%減少し、941百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が22百万円増加したものの、現金及び預金が24百万円、前渡金が29百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて3.6%減少し424百万円となりました。これは、無形固定資産が14百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて3.9%減少し1,366百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて2.8%増加し761百万円となりました。これは、短期借入金が185百万円増加し、買掛金が70百万円、一年内返済予定の長期借入金が54百万円、前受金が46百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて2.3%増加し783百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて11.2%減少し582百万円となりました。これは、利益剰余金が65百万円減少したことなどによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期(通期)の業績予想につきましては、平成23年10月31日付「平成23年9月期 決算短信(非連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	239,043	214,207
受取手形及び売掛金	448,544	471,520
商品	25,391	28,153
仕掛品	6,812	10,187
前渡金	221,563	192,027
その他	41,670	26,712
貸倒引当金	△1,101	△1,108
流動資産合計	981,923	941,701
固定資産		
有形固定資産	6,533	6,011
無形固定資産		
画像データならびに同作成権及び販売権	166,200	166,200
その他	153,891	139,252
無形固定資産合計	320,091	305,452
投資その他の資産		
投資有価証券	71,902	71,353
その他	41,566	41,517
投資その他の資産合計	113,469	112,870
固定資産合計	440,094	424,334
資産合計	1,422,018	1,366,036
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	255,046	184,734
短期借入金	125,000	310,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	114,493	60,099
前受金	91,435	45,367
リース債務	1,526	1,606
未払法人税等	1,347	1,459
契約損失引当金	52,064	36,303
製品保証引当金	2,841	4,611
その他	57,326	77,305
流動負債合計	741,081	761,487
固定負債		
長期借入金	19,600	17,200
リース債務	4,403	3,947
退職給付引当金	955	958
固定負債合計	24,959	22,105
負債合計	766,040	783,592

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	949,601	949,601
資本剰余金	92,599	92,599
利益剰余金	△242,578	△308,072
自己株式	△111,949	△111,949
株主資本合計	687,672	622,178
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△29,860	△30,409
繰延ヘッジ損益	△1,835	△9,325
評価・換算差額等合計	△31,695	△39,734
純資産合計	655,977	582,443
負債純資産合計	1,422,018	1,366,036

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	373,201
売上原価	299,101
売上総利益	74,099
販売費及び一般管理費	126,489
営業損失(△)	△52,389
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	150
為替差益	398
その他	68
営業外収益合計	618
営業外費用	
支払利息	1,880
支払手数料	11,094
その他	15
営業外費用合計	12,990
経常損失(△)	△64,761
税引前四半期純損失(△)	△64,761
法人税、住民税及び事業税	732
法人税等合計	732
四半期純損失(△)	△65,494

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期累計期間(自平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額 (注)2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	218,231	154,970	373,201	—	373,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	218,231	154,970	373,201	—	373,201
セグメント利益又は損失 (△)	1,960	2,346	4,306	△56,696	△52,389

(注)1 調整額の内容は以下の通りであります。

(1) 調整額に記載されているセグメント利益又は損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△56,696千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期累計期間において、固定資産に関する重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。